

一一一〇番

湯種ゆだねま蒔まく

あらしきの小田をだを

求めもとむと

足結出あゆひいで

濡ぬれぬ

この川かはの瀬せに

一一一一番

古いにしへも

かく聞ききつつか

偲しのひけむ

この古川ふるかはの

清きよき瀬せの音おとを

一一一二番

はねかづら纒ま

今いまする妹いもを

うら若わかみ

いざ率いさかは川の

音おと

のさやけさ

一一一三番

この小川をがは

霧きりそ結むすべる

たきち行ゆく

走井はしりゐの上うへに

言ことあ拳こぶしげせねども